

# 第6回採用試験対策部研修会

8月11日(金)香川県教育会館にて午前の部・午後の部と2回に分けて採用試験対策部研修会を開催した。参加者は、昨年の2次試験受験者と今回の1次試験合格者である。

香川大学の谷口弓恵准教授を講師に迎え、模擬授業と個人面接についての心構えを講義していただいた。谷口先生からは、「合格するかしないかそれはほんの少しの差。たった10分の模擬授業、個人面接で評価されます。持てる力をその10分で全て発揮できるようにしないとダメです。まだ間に合います。残された時間で、できることを頑張ってくださいませよ。」と熱いお言葉をいただいた。

香教連の先生方にも協力していただき、校種別にグループに分かれて、模擬授業と個人面接の実技指導が行われた。声の大きさ・動作・板書の仕方・視線・服装など細かいところまで気づいたことはアドバイスを行った。

参加された講師の方の感想

○こんなに緊張すると思わなかった。本番前に練習できて良かった。

○自分の気が付いていなかった癖を指摘されました。でも教えてもらって良かったです。

○模擬授業はダメ出しの連続だったけど、逆に課題がはつきり分かった。

○まだ1週間あると思って、できることをがんばります。香教連は、合格の喜びの報告を心から待っています。



谷口准教授の講義の様子



個人面接の練習の様子



模擬授業の後の振り返りの様子

# 全日教連次期リーダー研修会開催

8月17日(木)18日(金)の2日間、東京にて全日教連次期リーダー研修会が開催された。香教連からは、木村孝先生(坂出市立坂出小学校)と福田楓先生(丸亀市立富熊小学校)の2名が参加した。

この研修会は、組織活動や現在の教育課題に対して理解を深めるとともに、教育専門職としての意識を高め、組織の活性化を図ることが目的である。

1日目は、都市センターホテルにて前田全日教連委員長より、「全日教連とは」と題して講話があり、その後グループに分かれて「私から始める学校改革」希望をもって働き続けるために「の」のテーマでワークショップが開かれた。そこで多くの他県の先生方と交流を深めることができた。夕方より国会議事堂に移動し、議事堂内を見学した。

2日目は、自由民主党本部に行き、建物内の見学の後、三谷英弘衆議院議員の講話「よりよい教育環境をめざして」を拝聴した。

両日とも猛暑の中での研修であったが、夏休み期間だからこそ実現できる全国の仲間との交流に感謝した2日間であった。

【木村孝先生感想】

今回次期リーダー研修会に参加させていただき、様々な他県の先生方と交流させていただくことができました。色々な悩みや考え方をもち先生方と話し合うことで、自分のこれからの働き方に生かせる知見を得ることができました。大変貴重な経験をありがとうございました。

【福田楓先生感想】

何となく入っていた香教連・全日教連でしたが、詳しく説明を聞いて改めて素晴らしい取り組みをしている団体に自分は所属しているのだと感じました。1日目は様々な県の先生方と話すことで視野が広がり、2日目は三谷英弘先生の話聞き、仕事への意欲が高まりました。



# 第2回会長・局長会議

8月26日(土)ZOOMによるWEB会議にて、第2回会長・局長会議を行った。署名活動、9月以降の行事、組織対策強化について話し合いが行われた。

冒頭で、高木委員長から「教員を取り巻く環境が大きく変わってきています。教職調整額の変更、新しい主任手当の増設、教科担任制の教科に伴う教員数の増加など変化に対応していかなければなりません。香教連の存在意義が問われ、将来に向けてアピールできるチャンスでもあります。各単組の会長、事務局長の皆さんは会員第一を考え、今できることをこつこつと実行していきましょう。何もしないのは現状維持ではなく後退です。常に前進です」と挨拶があった。

当日、今後の要望内容に関して以下のような発言があった。

「最近、ガソリン代の高騰がずっと続いています。また、生活に関する全てのものが値上がりしている状態です。石油製品でいえばタイヤ。通勤手当に関しての見直しを要望していただけないでしょうか？」

## 7・8月 業務抄

- 7月8日 中堅教員研修会
- 10日 東部教育事務所要望
- 14日 幼児教育部研修会
- 24日 丸亀市教職員協議会 評議員会
- 29日 香教連 本部役員会
- 8月4・5日 全日教連教研大会 宮崎大会  
台風接近のため現地開催中止  
分科会のみ ZOOM を利用して開催
- 9日 ランチの会 (丸教協)
- 11日 第6回採用試験対策部研修会  
中堅教員研修会
- 12日 退職に向けてのセミナー
- 16・17日 全日教連リーダー研修会
- 22日 東かがわ市教委要望 (大教協)
- 26日 第2回会長・局長会、執行委員会
- 28日 県教委定例会  
さぬき市教委要望 (大教協)

# 丸亀市教職員協議会 評議員会

7月24日(月)丸亀ビカラススタジオ会議室において第2回丸教協評議員会が開催された。

次の3点について伝達事項があった。

- 1 夏の丸亀市教育委員会との要望活動について
  - 2 全日教連・香教連 署名活動について
  - 3 丸教協 ランチの会について
- 終わりに意見交流会があり、各学校の評議員から様々な意見や要望が出された。

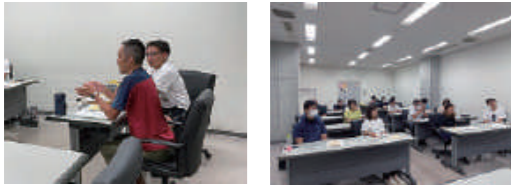
○普段の勤務の割り振りについて

○子育て世代の勤務の実態について 子育てと仕事の両立がますます難しいと感じることが増えた。教員を辞めたいと思う人が増えてきている。

○夏休みの研修が元に戻ってきている。コロナ禍の時期に比べてより忙しさを感じる。

○夏休みの宿題は誰のためのものか？習字やポスターの応募が多く、学校がその業務の一端を担うべきものなのか？疑問を感じる。

○教員業務支援員の配置が早急な課題。他都市に比べて配置人数が少ない。丸教協は今出された意見や要望をまとめて、市教委要望に盛り込んでいく。



評議委員会の様子



ランチの会の様子8月9日開催



# 幼児教育部研修会

7月14日教育会館会議室にて第1回幼児教育部研修会が開催された。「季節の壁面掲示を作る」と題し、「9月にびったりうさぎとコスモス」の制作を行った。

講師は、昨年に引き続き香教連アドバイザーティチャーの雁木君江先生で、現在ユーチューバーとしても活躍されている。うさぎのパーツとピンクのお花紙を利用して、小学校入学前の子どもたちでも簡単にそして楽しく取り組める工夫を教えた。だきながら、楽しい90分の学びの時間に参加者は浸っていた。



今回、会員以外の方も参加され、雁木先生からは、残った材料以外にも掲示に使った用紙や見本もプレゼントしていただき参加された先生方からは大好評の研修会となった。



# 大川教職員協議会 東かがわ市教委 要望

8月22日(火)、東かがわ市役所二階会議室において、大川教職員協議会が東かがわ市教育委員会に要望を行った。参加者は原井副会長、久保田人対部長、齊藤事務局長、高木香教連委員長の4名である。同じく8月28日(月)、さぬき市教育委員会一階会議室においてさぬき市教育委員会に要望を行った。

参加者は、平木会長、朝日人対部長、齊藤事務局長、高木香教連委員長の4名である。詳しい要望内容に関しては、香教連ホームページに掲載している。



松浦教育長と原井副会長



和田教育長と平木会長

# 特別でない特別支援教育を

今回は、フォントについて。フォントといえば明朝体、ゴシック体、教科書体等があるのはご存じです。小学校で英語が取り入れられた時にアルファベット小文字の a ダブルストローク、エイ [pen]、エー [pen] が実際に書く a シングルストローク、エイ [pen]、エー [pen] と違うことで混乱する児童が少なくないことに気が付きましたよね。英語を書くための4線のうちの真ん中の行を広く設定して読みやすくなったフォントを手作業で学校のパソコンにインストールした方も少なくないのではないのでしょうか。

UD(ユニバーサルデザイン)の考え方を取り入れ、児童生徒用の印刷物に明朝体の使用をせずUD対応のフォントを使用するようになったところもあると思います。それ以前からPPTで資料を作成する時に明朝体でなくゴシック体を使うということを意識されている方もいらっしゃるでしょう。明朝体の横画は細くなっていてロービジョンの人には視認性が悪いからです。今回フォントについて書こうと思ったのは、「奇跡のフォント教科書が読めない子どもを知ってUDデジタル教科書体開発物語」高田裕美著(SOFTON)に出会ったからです。これは皆さんに紹介しなくてはならないと思います。

LD(学習障害)の一つに読み書き障害(ディスレクシア)があります。俳優のトム・クルーズがそうであるとカミングアウトしているのは周知の事実ですね。知的に遅れはない、視力にも問題はない。しかし、文字が読めない、読むことに非常に困難があるという症状です。周りの理解が得られない環境では、「やる気がない、サボっている」と捉えられ苦しみが生活しているのです。UDデジタル教科書体は、その人達に明るい光をもたらしました。次回、本文に触れながら、もう少し詳しく紹介したいと思います。